

授業科目名	人間病態学Ⅱ		担当教員	◎橋本裕二、大塚喜人、細川直登、大澤良介、伴 浩和、竹内正美、六反田諒、安藤哲朗、新垣慶人、田中美千裕、田中 厚、大内 洋、大塚伊佐夫、松本尚之	科目ナンバリング NB250
必修	開講年次：2年前期	単位：4単位	授業形態：講義60時間		

【授業概要】

病気によって対象に何が起きているかを理解するため、病気の成り立ちをメカニズム別(病因別)に「病理病態論」として学修し、その症状や徴候がどのように現れるかについて「病態症候論」の枠組みで学ぶ。主に人間の生活や生命に影響を及ぼす神経系の病態、生体の防衛に関する感染のメカニズムなどについて学修する。

【達成目標】

主要な症候、疾患の病態と評価法、治療と効果を理解し、主要な疾患のある対象者への看護に繋げられる。

【履修条件】

「生物学」、「人間機能学(形態と機能)」を修得していること。

【授業計画】

[01] 微生物 1	(大塚喜)	[16] アレルギー・免疫・膠原病 3	(六反田)
[02] 微生物 2	(大塚喜)	[17] アレルギー・免疫・膠原病 4	(六反田)
[03] 微生物 3	(大塚喜)	[18] 脳神経系 1	(安藤)
[04] 微生物 4	(大塚喜)	[19] 脳神経系 2	(安藤)
[05] 微生物 5	(大塚喜)	[20] 脳神経系 3	(安藤)
[06] 感染症・寄生虫 1	(細川)	[21] 脳神経系 4	(荻野)
[07] 感染症・寄生虫 2	(大澤)	[22] 脳神経系 5	(金井)
[08] 感染症・寄生虫 3	(伴)	[23] 脳神経系 6	(田中美)
[09] 感染症・寄生虫 4	(伴)	[24] 脳神経系 7	(田中美)
[10] 血液・造血器 1	(竹内)	[25] 眼疾患	(柴田)
[11] 血液・造血器 2	(竹内)	[26] 耳鼻・咽喉疾患	(松本)
[12] 血液・造血器 3	(竹内)	[27] 皮膚疾患	(田中厚)
[13] 血液・造血器 4	(竹内)	[28] 運動器 1	(大内)
[14] アレルギー・免疫・膠原病 1	(六反田)	[29] 運動器 2	(大内)
[15] アレルギー・免疫・膠原病 2	(六反田)	[30] 婦人科疾患	(大塚伊)

【教科書】

1. 新体系 看護学全書(2019)、メヂカルフレンド社：電子教科書
成人看護学②～⑩
疾病と治療⑩
2. フラピエかおり著(2018)：看護学生のための重要疾患ドリル、メヂカルフレンド社：電子教科書

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

- 1) 筆記試験 70%
- 2) 提出物と課題レポート 20%
- 3) 授業参加態度 10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：教科書及び予習用パワーポイント資料を確認しておくこと。

事後学習：学生公開用パワーポイント資料を用いて復習しておくこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

提出物や課題レポートについては、授業中に傾向について示しフィードバックを行う。

【備考】

この科目は、全ての医療系科目、実習に関連する為、真摯に学習に取り組むこと。